

宜野湾市年表

1321（至治1）年

この年、察度誕生と伝わる

1350（至治10）年

察度、中山王に即位

1372（明洪武5）年

中山王察度、明にはじめて入貢（進貢貿易の始め）

1395（明洪武28）年

中山王察度没す

1494（弘治7）年

「おろく大やくもい」の石棺製作

1531（嘉靖10）年

『おもろそうし』巻1編集

1590（万暦18）年

普天間権現の碑建立

1609（万暦37）年

島津侵入。国王以下重臣たち鹿児島に連行（近世琉球のはじまり）

1616（万暦44）年

初代オモロ主取安仁屋親雲上誕生

1644（順治1）年

尚賢王、はじめて「普天間神社」に参拝

1660（順治17）年

四代官制（島尻方、中頭方、国頭方、久米方）発足。宜野湾を含む浦添間切は中頭方代官の管轄

1671（康熙10）年

宜野湾間切創設。浦添間切から10村、中城間切から2村、北谷間切から1村を分割、新たに1村を新設

1689（康熙28）年

系図座設置

1713（康熙52）年

『琉球国由来記』編集

1725（雍正3）年

真志喜に西森碑建立

1731（雍正9）年

『琉球国旧記』編集

1745（乾隆10）年

大山御嶽の碑建立

1820（嘉慶25）年

伊佐浜の碑建立

1839（道光19）年

喜友名移設拝所にこの年の銘をもつ寄進香炉あり

1847（道光27）年

イギリス人ベッテルハイム、島尻から中頭へ旅行。中城から宜野湾間切番所を経て那覇に帰る

1850（道光30）年

この年、進貢貿易用硫黄焼き調べ、我如古村で行う

1853（咸豊3）年

ペリー提督の率いるアメリカ艦隊来航

1869（明治2）年

東氏真志喜里之主親雲上政忠、宜野湾間切真志喜里主所を給賜
大雨が降り、嘉数村の玉寄筑登之親雲上の家が浸水したため、その妻は隣家に避難しようと屋外に出て雷に打たれ死ぬ

1872（明治5）年

9月 明治政府、琉球王国を「琉球藩」に改称し、国王尚泰を「藩主」とする旨示達

1873（明治6）年

「琉球藩雜記」この年の宜野湾間切の人口を1,689人（別に1,696人とある）と伝える。また、宜野湾間切の反別411反1畝、石高3,309石8斗2升7合7勺三才となる

1874（明治7）年

7月 琉球藩、内務省に属し、出張所を那覇に設置

1875（明治8）年

5月 熊本鎮台分遣隊、来琉

7月 内務大臣書記松田道之、来琉。藩主に朝旨を訓諭
明治政府、中国との通交禁止を琉球に命ずる

1876（明治9）年

6月 琉球藩民の清国渡航が許可制となる

1878（明治11）年

4月 鹿児島県令岩村通俊、視察のため来琉

1879（明治12）年

4月 松田道之の命により、藤崎時之助ら宜野湾間切を含む中頭地方の民情視察を実施

この年「おもろ主取家元祖由来記」最終的に成立

3月 木梨精一郎を県令心得に任命し、内務省出張所に仮県庁を設置

4月 琉球処分。明治政府、軍隊と警察官を動員して琉球王国の廃止および「沖縄県」の設置を宣言（近代沖縄の始まり）

1880（明治13）年

- 5月 警察分署の所轄区域の改定、宜野湾間切は首里警察署の所轄となる
残砂糖の売却申請許可
戸籍調査費の官費、立て替え申請却下
間切在勤官・黒田剛、同制度廃止により退任
- 10月 間切役人の辞職願、中頭役所で許可

1881（明治14）年

- 5月 中頭間切の各間切、改めて貢租の石代納を請願
中頭小学校、普天間神宮寺内に設立
- 6月 中頭役所、美里間切から宜野湾間切番所に移転
- 11月 第二代目の沖縄県令 上杉茂憲、宜野湾間切を巡回視察。中頭役所で地元役人から事情聴取し、村や学校を視察
- 12月 焼過砂糖を抵当として砂糖製造資本金、拝借を出願し、許可

1882（明治15）年

- 3月 中頭小学校廃校
- 4月 宜野湾小学校設立
- 8月 尾崎三良、宜野湾間切を視察

1883（明治16）年

- 2月 会計検査院長・岩村通俊、宜野湾間切を視察。地元役人から事情聴取
- 4月 上杉県令、解任
岩村通俊、会計検査院長兼沖縄県令に任命
- 12月 岩村県令、解任
内務省土木局長・西村捨三、県令に任命

1885（明治18）年

この年、宜野湾など中頭11間切の「製糖取締内法」成文化

1886（明治19）年

「沖縄県旧慣間切内法」成文化

1889（明治22）年

チュンナーガーにこの年の銘をもつ寄進香炉あり

1890（明治23）年

10月 「沖縄県土地処分地租改正法案」作成

12月 「砂糖樽製造営業取締規則」公布

1894（明治27）年

2月 一木喜徳郎、沖縄県の民情視察。その成果を『一木書記官取調書』にまとめる

1896（明治29）年

4月 郡区制を実施。宜野湾間切は中頭郡に編成

1897（明治30）年

4月 比嘉森助、初代間切長に就任

4月 「沖縄県間切島吏員規定」施行

1898（明治31）年

3月 中頭間切吏員の職務研究会設立

4月 宜野湾間切高等小学校に初めて女生徒入校
神山出身の山城五郎、六週間現役兵に合格

6月 中頭郡徴兵署、中頭高等小学校に設置

7月 齊藤用之助に代わり朝武士干城郡長に就任
臨時沖縄県土地整理事務局設置

- 8月 宜野湾尋常小学校校舎、平屋建（63坪）1棟建築工事入札
- 11月 中頭郡長、郡内巡視
- 1月 「徴兵令」施行
- 11月 「沖縄県土地処分」作成

1899（明治32）年

- 5月 中頭小学校、島尻へ6日間の修学旅行
- 7月 宜野湾尋常小学校校舎修繕
- 10月 中頭三小学校連合運動会、西原間切我謝馬場で開催

1900（明治33）年

- 1月 中頭街道、平良橋より普天間まで工事着手
- 6月 「中頭郡の徴兵適齢者20名徴兵を免れるため手指を切断す」と新聞報道
- 8月 宜野湾尋常小学校落成
- 10月 宜野湾馬場で郡中の名馬50組を集めて競馬を開催
中頭郡、教育勅語下賜記念運動会、泡瀬塩浜で開催

1901（明治34）年

- 8月 中頭郡物産品評会、中頭高等小学校で開催
- 12月 中頭郡農事試験場、中頭高等小学校跡に新設

1902（明治35）年

- 1月 中頭郡道、首里・普天間の道路砂利散布工事
- 5月 普天間街道開通式
- 11月 「神宮前に茶屋が出現」と新聞報道

1903（明治36）年

- 2月 中頭郡各間切、製糖鍋を四連接鍋に決定
- 4月 嘉数村ヒャーガーラ原・ミーハギ原の石橋、大雨のため破損

- 8月 中頭重要物産品評会、普天間農事試験場で開催
12月 「本年度の徴兵忌避者、中頭郡二名」と新聞報道
宜野湾間切の人口、1万634人、戸数2,295戸となる

1904（明治37）年

- 2月 宜野湾間切の貢糖高、5万432斤8合納付
5月 中頭郡各地で早魃被害
3月 「乗合馬車営業取締規則」制定

1905（明治38）年

- 4月 県立中学校へ宜野湾高等小学校から3人合格
12月 無限責任宜野湾間切販売購買組合設立
宜野湾で麻疹大流行

1906（明治39）年

- 9月 「ハワイへの移民数、宜野湾61人」と新聞報道
10月 宜野湾尋常高等小学校、運動会を馬場で開催
11月 「間切組合立甲種農学校、農事試験場に設立される計画」と新聞報道
12月 海外移民の数、1月より12月までの累計、宜野湾119人となる
中頭郡教員運動会、普天間小学校内で開催

1907（明治40）年

- 3月 宜野湾小の就学児童数、尋常科166人、高等科72人となる
4月 岡山県農学校長増田定吉、中頭郡農学校長に任命
5月 中頭郡青年会創立総会、普天間小学校で開催
12月 中頭郡農学校落成

1908（明治41）年

- 3月 宜野湾村書記、定員7人となる

- 4月 間切長桃原正裕、初代村長に任命
- 10月 宜野湾・普天間尋常高等小学校、連合運動会を宜野湾馬場で開催
- 12月 戸籍調査の結果、宜野湾村2,401戸、1万1,184人となる
- 1月 「沖縄県及島嶼町村制」公布。間切・島及び村を村及び字と改称
- 4月 「沖縄県及島嶼町村制」施行
- 10月 戊申詔書発布

1909（明治42）年

- 1月 改築中の普天満宮落成、遷座式を挙行
- 7月 普天間石川砦の修繕入札公示
- 9月 各字に暴風被害。街道並木松10本倒れる
- 11月 中頭郡村長会開催、旧正月廃止など可決
「この年のハワイ移民呼び寄せ87人、全て婦人」と新聞報道

1910（明治43）年

- 3月 中頭郡農学校、第1回卒業式
- 9月 宜野湾村教育召集青年会、夜学会員、在郷軍人など連合大運動会を宜野湾尋常高等小学校で開催
宜野湾村の戸数2,361戸、人口1万1,635人となる

1911（明治44）年

- 4月 河田力、中頭農業学校長に任命
- 5月 宜野湾村村会議員選挙
- 6月 村長の選挙干渉事件起こる
- 8月 遙拝式を役場で開催
国吉真現、東京帝国大学法科へ入学許可
- 9月 中頭郡役所の大喪遙拝式、構内で開催
- 10月 普天満宮祭開催
- 7月 明治天皇崩御、年号が大正となる

1913（大正2）年

- 1月 癩病患者の数宜野湾村は、男9・女1と新聞報道
宜野湾村教育会設立総会、宜野湾尋常小学校で開会
- 6月 宜野湾村、国税納税成績優良で表彰
- 9月 中頭郡長朝武士干城、国頭郡長に転任、後任に五味武就任

1914（大正3）年

- 7月 中頭郡の農業補習学校、中頭農学校内に開校
- 10月 中頭郡各村組合立農学校の運動会、宜野湾馬場で開催
- 11月 五味中頭郡長更迭、後任に長谷部順治任命

1915（大正4）年

- 5月 自治制25周年記念祝賀会で宜野湾村、優良村として表彰
- 11月 中頭農学校・宜野湾・普天間三校連合運動会、宜野湾馬場で開催
中頭郡役所、公衆電話を設置

1916（大正5）年

- 2月 中頭郡青年部会創立総会、郡役所で開会
- 3月 中頭農学校、第七回卒業証書授与式を開催、最後の卒業式となる
- 7月 宜野湾村長排斥の声高まる
- 8月 長谷部中頭郡長更迭、後任に近藤忠敏、着任
- 10月 桃原正裕宜野湾村長、辞表提出。後任に山城五郎就任
宜野湾村の戸数高、2,444戸となる

1917（大正6）年

- 1月 宜野湾村の徴兵適齢者、129人となる
- 2月 沖縄製糖株式会社宜野湾工場落成式
- 7月 宜野湾尋常高等学校補習学校・普天間尋常小学校補習学校の設立許可、秋季より授業開始

12月 宜野湾郵便局、電信事務開始

1919（大正8）年

8月 「小学校に関する規程」制定

1920（大正9）年

4月 「市町村制特例」撤廃

10月 国税調査を初めて実施
沖縄県の人口57万1,572人、戸数11万9,757戸となる

1921（大正10）年

6月 佐喜真興英氏、司法官試補に任命、福岡地方裁判所に勤務
中頭郡役所、普天間に新築移転

1922（大正11）年

5月 佐喜真興英氏、『南島説話』を出版

3月 県営鉄道嘉手納線開通

1924（大正13）年

8月 宜野湾村村会議員選挙に関し悶着起こる

1925（大正14）年

4月 村長選挙、山城村長再選

5月 佐喜真興英、『シマの話』を出版

1926（大正15）年

1月 普天間に麦作指導地が設置

- 5月 宜野湾の白黒戦争、県が調停
- 6月 佐喜真興英氏没（1925年）後、『女人政治考』が出版される
- 7月 郡役所および島庁廃止

1927（昭和2）年

- 10月 沖縄県大旱魃

1929（昭和4）年

- 8月 那覇水道委員、水源地使用で宜野湾村当局と懇談
- 2月 甘藷沖縄百号、松本技師により交配成功

1930（昭和5）年

- 10月 第2回国勢調査、実施
沖縄県の人口57万7,508人、戸数12万3,274戸となる
水源地使用の絶対反対を答申
- 11月 那覇市上水道の水源地使用許可
この年、昭和恐慌激化

1931（昭和6）年

- 6月 宜野湾並松、天然記念物に仮指定
- 8月 デング熱、沖縄県下に蔓延、患者10万人を越す

1932（昭和7）年

- 1月 宜野湾村の選挙有権者、2,957人となる
- 10月 宜野湾並松、天然記念物に指定

1934（昭和9）年

- 8月 沖縄県の「移民熱」高まる

1935（昭和10）年

宜野湾村経済更正村に指定

1936（昭和11）年

- 5月 真志喜農繁期託児所、大阪朝日新聞社社会事業団より表彰
- 7月 宜野湾並松、台風のため14本倒れる
- 10月 宜野湾小学校の新築校舎、台風で倒壊

1937（昭和12）年

- 2月 県学務部、小、中学校の正科に空手編入を文部省に要望
- 11月 薪木の販売統制実施

1938（昭和13）年

- 4月 宜野湾小学校校長に比嘉賀新任命
- 6月 宜野湾村、農林省より特別助成村に指定
- 4月 「国家総動員法」公布
- 6月 市町村青年団に貯蓄部を結成
- 6月 沖縄県特高課、県下一斉にユタ狩りを実施

1939（昭和14）年

- 5月 普天間小学校で標準語励行開始
- 6月 出征軍人家族の慰安のため嘉数闘牛場で闘牛大会開催
- 7月 宜野湾村にチフス発生
- 10月 経済更正村民大会開催
- 7月 「国民徴用令」公布

1940（昭和15）年

- 1月 村営農民道場落成

- 5月 普天間に中頭教育会館落成
- 10月 大政翼賛会発足
- 11月 普天間に共同製糖場設置
- 12月 報道管制により一県一紙となる

1941（昭和16）年

- 5月 中頭郡の人口13万9,995人となる
- 3月 国民学校令公布
- 12月 太平洋戦争勃発

1942（昭和17）年

- 12月 中頭郡下銃後奉公連合会組織
宜野湾村模範村として表彰
- 1月 沖縄翼賛壮年団結成
- 2月 青年学校に女子部開設
- 2月 大日本婦人会沖縄県支部結成
- 9月 各部落に遺族会相談設置

1943（昭和18）年

- 4月 宜野湾村、優良産業組合として表彰
- 8月 普天間部落会、標準語励行で表彰
- 9月 普天間村、標準農村に指定

1944（昭和19）年

- 1月 真志喜部落、優良部落として表彰
- 2月 普天満宮、造営着工
宜野湾村農業会設立
- 4月 宜野湾青年学校、独立校として許可
- 8月 学童疎開開始
- 10月 米軍、県下に大空襲

1945（昭和20）年

- 2月 村民、今帰仁村平敷・謝名・崎山などに疎開
- 4月 米軍普天間方面に進攻（嘉数方面で激戦）
- 11月 有志4人が野嵩の収容所を調査視察
羽地在住の村民404人、帰村
- 4月 米軍上陸
- 6月 沖縄の日米両軍の組織的戦闘終了（23日）
- 8月 太平洋戦争終結（15日）

1946（昭和21）年

- 2月 各地に疎開していた村民の多くが野嵩収容所に帰村を始める
- 4月 市町村復活し、村長に久保田盛春、助役に桃原亀郎、収入役に伊佐真英を任命
- 4月 野嵩南・西・北初等学校設立許可
- 5月 久保田盛春、村長就任
- 8月 役場を野嵩の松川英徳宅より野嵩西門原にコンセントを建築し移転
- 9月 嘉数部落居住許可
- 11月 伊佐・大山地域への居住許可
野嵩西・北初等学校から分かれて、嘉数初等学校が真栄原に設置認可。校長に知念清一任命
- 12月 沖縄中央政府を沖縄民政府と改称
土地所有権調査事務開始
- 4月 沖縄中央政府、沖縄議会発足
- 8月 民政府の指示により村政委員会発足

1947（昭和22）年

- 1月 軍用道路5号線以東地域の居住許可
- 2月 真栄原地域の居住許可
村長に桃原亀郎が就任。助役に伊佐真英、収入役国吉真光を任命
- 10月 軍用道路5号線以西宜野湾・神山・赤道・上原・喜友名地域の居住を許可

1948（昭和23）年

- 2月 市町村議会議員および市町村長選挙法により村長、議会議員選挙が行われ、無投票で村長に桃原亀郎、村会議員に伊佐真人外25人が当選
- 3月 コザ高校野嵩分校から独立し、野嵩高等学校として創設
- 4月 部落移動に伴い、野嵩南校は愛知に移り宜野湾初等学校と改称、野嵩西校は大山に移り、大山初等学校と、野嵩北校は普天間初等学校と改称された
6・3・3制施行により野嵩中学校を設置
大山・宜野湾・嘉数初等学校に中学校が併置
- 10月 ハワイ更生会から豚15頭、寄贈

1949（昭和24）年

- 12月 普天間にコザ地区教育長事務所開設
- 5月 ララ資金による寄贈山羊、40頭到着

1950（昭和25）年

- 2月 役所瓦葺き新庁舎落成
- 7月 沖縄食料株式会社中部支店、普天間に設置
- 9月 村長選挙、知念清一当選
- 12月 普天間グラウンドで米琉親善陸上競技大会開催

1951（昭和26）年

- 4月 土地所有権証明書交付開始
- 5月 普天間2区設置
- 10月 普天間地域に電話開通
- 12月 コザ保健所宜野湾支所設置

1952（昭和27）年

- 1月 第1回産業共進会開催
- 2月 米軍向け清浄蔬菜園、我如古園芸組合に設置認可

- 8月 日赤70周年記念で野嵩高校1年照屋佳男、東亜9カ国青少年交換キャンプに参加
- 9月 村青年会音楽コンクール開催
- 3月 杉材の輸入（1日）
- 4月 琉球政府発足（1日）
- 4月 講和条約発効（28日）
- 6月 軍用地地主協会総会

1953（昭和28）年

- 1月 第2回共進会開催
- 5月 宜野湾遺族会結成
- 6月 軍用土地委員会発足
- 9月 普天間開放地、土地計画開始
- 11月 宜野湾村へ配電事業、松岡配電株式会社へ許認可
- 12月 野嵩平田原の一部、海軍通信隊用地に接收
- 4月 「土地収用令」公布
- 8月 講和発行前の軍用地使用料が支払われる

1954（昭和29）年

- 4月 立法院、「土地問題四原則」を打ち出す
- 7月 伊佐後原・新城下原・安仁屋前原一帯の水稲作付け禁止
- 8月 伊佐浜一帯、ABC地域の明け渡し、米軍より通達
- 9月 村長選挙実施、知念清一再選
- 12月 伊佐浜問題について、軍・行政府・村の三者協議会開催
- 7月 ボリビア移民の門開く（18日）
- 9月 大浜信和泉氏の早大総長就任（22日）
- 11月 囚人暴動事件（7日）

1955（昭和30）年

- 7月 原子砲現わる（30日）
- 10月 人権擁護委員会の発足（15日）

10月 プライス調査団来島（23日）

1955年（昭和30）年

- 1月 伊佐浜代替地、埋立開始
- 3月 桃原茂太村葬
伊佐浜軍用地接收、一部（A地区）開始
- 4月 喜友名グスク拝所撤退するように民政府から通知
- 5月 普天間の米人住宅建設、松村組に落札
- 7月 伊佐浜、18日までに立ち退くよう通知
伊佐浜、土地接收強行（19日）
住宅取り壊し（20日）
- 8月 伊佐浜部落民の一部、美里村高原に移動
- 10月 プライス調査団、宜野湾村視察
- 11月 普天間商工会発足
普天満宮本堂落成
- 12月 普天間に警部補派出所完成

1956（昭和31）年

- 1月 モーニングスター社、宜野湾に新社屋建設開始
普天間グランド・パレス落成
- 5月 国際自由労連調査団、伊佐浜視察
- 6月 この頃、村民の87%が軍作業
プライス勧告発表
全島一斉に四原則徹底住民大会
- 7月 普天間に公設市場開始
軍用地問題で宜野湾村民大会、宜野湾小中学校で開催
- 10月 大山にドライブ・イン・レストラン開店
- 9月 台風エマ各地に被害
スクラップブームまだまだ続く

1957（昭和32）年

- 3月 普天間小学校創立50周年記念式典開催
- 5月 中頭郡青年団協議会結成
- 6月 嘉数公民館落成
- 7月 普天間の都市計画、2期工事開始
村報発行
- 8月 59人の伊佐浜区民、ブラジルへ移民。村が壮行会実施
- 9月 普天間小学校校庭で戦没者慰霊祭実施
この頃、貸馬による事故頻発
普天間警察署発足
- 12月 普天間総合グラウンド完成
大山小中学校、10周年記念式典開催
宜野湾区公民館落成
陸軍病院から大山小学校へクリスマスプレゼント

1958（昭和33）年

- 1月 第1回高校箏球選手権大会で普天間高男子、優勝
小祿墓と中の石棺、県指定文化財となる
- 3月 佐真下公民館落成
喜友名公民館落成
- 5月 普天間に有料プール開業
- 6月 宜野湾郵便局新庁舎落成
「職員給与条例」制定
- 9月 宜野湾村長に仲村春勝当選
賀川光夫ら大山貝塚を発掘
- 10月 普天間開放地中通り会結成
米兵相手の洗濯業流行
- 11月 普天間開放地中通り「すずらん通り」と命名
- 12月 宜野湾村畜産組合発足
- 4月 ビニールや毛糸の編み物が大流行
- 9月 B円からドルへ切り替え

1959（昭和34）年

- 1月 普天間高校、武道場を改築、図書館を新築
- 2月 宜野湾小中校運動場拡張工事、米海軍が協力
- 3月 大山・喜友名・伊佐で新規土地強制接収
宜野湾村青年会、普天満宮境内に松を植樹
- 4月 北中城・普天間のバス開通
フテンマボウリングセンター、営業開始
- 5月 喜友名、慰霊塔建立
- 7月 普天間飛行場にヘリコプター中隊移駐
- 8月 宜野湾小学校、創立75周年式典
- 9月 この頃から家庭風呂が普及する
- 10月 天満中通り会結成

1960（昭和35）年

- 1月 宜野湾部落に米海軍のヘリコプター墜落
各小学校でパン給食始まる
- 3月 宜野湾の人口、3万人を越す
3,750ドルの弁務官資金で簡易水道の敷設
- 4月 宜野湾村育成会第1回の貸費生募集
- 5月 普天間中学校、喜友名後原に移転
飛行場からガソリンが流出、大山区に被害
大山小学校体育館、天願部隊の援助で完成
- 7月 普天間に上水道施設設置
- 8月 キャンプマーシー、村内各中学校にコンセント10数棟贈る

1961（昭和36）年

- 2月 普天間開放地に琉映館落成
- 3月 沖縄ヤクルト落成
- 5月 嘉数中学校地鎮祭
- 6月 宜野湾部落、弁務官資金で水道完成
- 7月 普天間新開通りにすずらん灯設置

- 10月 普天間商工祭でオートレース開催
- 11月 宜野湾小中学校へ銃弾飛び込む

1962（昭和37）年

- 4月 臨時議会で市昇格提案
嘉数中学校開校式
市名、宜野湾市に決定
公設市場完成
- 6月 新城闘牛場完成、闘牛大会開催
- 7月 宜野湾市誕生
市制誕生祝賀行事開催
- 9月 大謝名電報電話局が開局
宜野湾市長に仲村春勝無投票で再選
- 11月 開放地、ビル・ラッシュ
- 12月 普天間で暴力団那覇派とコザ派が対立

1963（昭和38）年

- 3月 消防庁舎落成
- 4月 大山小学校で交通安全住民総ぐるみ大会、7,000人参加
- 5月 日本郷友連盟、弔魂碑の除幕式
- 6月 干害の緊急対策としてトラック3台で9部落に水配給
嘉数中学校PTAが運動場拡張工事に協力した米軍人に感謝状贈呈
- 7月 大山から人間の歯の化石発見
- 8月 首里・宜野湾間の道路、アスファルト舗装道路が完成
- 9月 普天間市場通り商店街開店、通り会結成
- 4月—10月 金融機関手入れ
- 8月 みどり丸沈没事件（17日）
- 年間 72年ぶりの気象異常

1964（昭和39）年

- 1月 すずらん通り、アスファルト舗装工事始まる

- 2月 行政区再編を行い、20区の新行政区が誕生
- 5月 ジローベーカーリーの照屋氏、喜友名・普天間にデイゴ400本植える
普天満宮拝殿の改築
- 7月 宜野湾市、健康都市宣言をおこなう
真栄原区闘牛組合、結成
- 8月 18番通りで沖縄青年4人と米兵が乱闘、米兵一人が死亡
- 10月 第1回中部地区陸上競技大会、普天間小学校グラウンドで開催
- 11月 京都の塔慰霊祭
嘉数展望台完成、高さ9メートル、直径12メートル
- 3月 エントツ・スト（23日）
- 4月 民芸大会開く（12日）
- 4月 日米協定発足（25日）

1965（昭和40）年

- 4月 中部商業高等学校開校
宜野湾、中城、北中城3市村合併促進協議会発足
- 7月 第2地区画整理事業着手
- 8月 宜野湾市長に島袋全一無投票当選
- 7月 B52の沖縄基地発進（29日）
- 8月 佐藤首相の沖縄訪問（19日）
- 9月 医療保険法の成立（4日）

1966（昭和41）年

- 4月 宜野湾市立野嵩保育所落成
- 8月 第二庁舎落成
- 1月 具志川村昆布に軍用地新規接收通知（25日）
- 7月 医療保険制度の発足（1日）
- 年間 米軍基地演習と事故続出

1967（昭和42）年

- 1月 西海岸公有水面埋め立て認可

- 4月 森の川史跡として県重要文化財指定
- 5月 市老人クラブ連合会結成
- 6月 森の川復元工事完成
市立大山保育所完成
- 7月 市制5周年、市章、市歌決定
- 2月 教公二法2. 24事件（24日）
- 7月 沖縄に初の芥川賞（大城立裕氏）（21日）
- 11月 沖縄の本土返還時期のめど、両3年以内に（16日）

1968（昭和43）年

- 1月 伊佐地先公有水面埋め立て第1工区の一部竣工
- 6月 愛知市営住宅2棟落成
真栄原郵便局開局
5号線（現国道330号）沿いの給水始る
- 8月 普天間電報電話局開局
- 11月 革新主席誕生（11日）
- 年間 B52の常駐
- 年間 基地被害

1969（昭和44）年

- 1月 愛知市営住宅2棟完成
野嵩三区公民館落成
- 4月 普天間第二小学校開校
- 5月 水道庁舎落成
- 6月 宜野湾学校給食共同調理場落成
新城区公民館落成
- 8月 宜野湾市長に崎間健一郎無投票当選
- 10月 宜野湾市、コザ市、北谷村焼却炉設置
- 11月 沖縄の1972年返還決まる（22日）
- 12月 軍雇用員の大幅解雇（4日）

1970（昭和45）年

- 6月 三市村一部事務組合（焼却炉）脱退
- 9月 養鰻研究センター設置
中原区公民館落成
- 10月 本庁舎増築
- 9月 尖閣列島、国際問題化（2日）
- 11月 戦後初の国政参加選挙（15日）
- 11月 国場川に死魚数十万匹浮く（18日）

1971（昭和46）年

- 3月 普天間高校が春の選抜高校野球大会へ初出場し、沖縄勢の初勝利を挙げる
- 4月 下水道事業着手
- 10月 宜野湾市、中城村、北中城村の3市村合併流れる
- 8月～ 円の平価切り上げ
- 11月 11.10ゼネスト（10日）

昭和47（1972）年

- 2月 伊佐公有水埋め立て着工
- 4月 沖縄国際大学開校
- 5月 祖国復帰（15日）
- 7月 市制10周年式典
- 5月～ 世替わりショックで、物価高騰
- 5月～12月 自衛隊移駐と盛り上がる反対運動

昭和48（1973）年

- 4月 社会福祉事務所開所
- 6月 下水道一部供用開始
商工会発足
- 7月 市立宜野湾保育所落成
宜野湾市長に米須清與当選

- 9月 伊佐市営住宅3棟落成
野嵩区画整理事業着手
大山郵便局開局
- 10月～ 石油危機で物不足・物価高
- 11月 琉球海運ビル建設現場で大陥没（26日）
- 12月 賛否に揺らぐ海洋博、延期となる（21日）

昭和49年（1974）

- 3月 小禄で不発弾爆発（2日）
- 8月 土地開発公社設立
- 10月 羽地内海で釣り船転覆（16日）
- 年間 狂乱物価・不況・失業

昭和50年（1975）

- 4月 普天間第二給食センター落成
- 9月 伊利原市営住宅3棟落成
- 12月 市花、市木、市花木が決まる
- 7月 皇太子ご夫妻来県（17日）
- 7月 海洋博覧会、開幕（20日）
- 年間 不況深刻、倒産相次ぐ

昭和51年（1976）

- 4月 大謝名小学校開校
三市村一部事業組合による清掃工場落成（宜野湾市、沖縄市、北谷村）
我如古ヒージャーガー市文化財1号指定
- 5月 ウテナガサワダムシ、市天然記念物に指定
- 9月 大謝名獅子舞33年ぶりに復活
- 11月 伊佐児童公園開園
- 9月 演習阻止に刑特法適用（18日）
- 10月 具志堅用高選手、ボクシング世界チャンピオンになる（10日）
- 年間 海洋博倒産相次ぐ

昭和52年（1977）

- 3月 総合計画基本構想決まる
し尿処理場「宜野湾清水苑」落成
軍用地（通信隊、普天間飛行場の一部）返還
- 5月 市役所移転先決定
- 6月 特別養護老人ホーム「福寿園」落成
- 8月 宜野湾市長に安次富盛信当選
- 10月 宜野湾郵便局、愛知に新装開局
- 5月 公用地法失効で法の空白（15日）
- 10～11月 経済事犯の続出
- 年間 長期不況一空前の失業、倒産

昭和53年（1978）

- 2月 「嘉数高台」沖縄観光名所に決定
- 3月 伊佐区公民館落成
市消防本部我如古出張所落成
社会福祉センター落成
- 5月 勤労青少年ホーム落成
- 8月 新庁舎工事着手。第1回ぎのわん祭り
- 10月 宜野湾区公民館落成
- 11月 勤労者体育センター落成
コンピューター自主導入決定
- 12月 「国立療養所沖縄病院」我如古に開院
- 6月 平良市公共工事汚職（3日）
- 7月 ななさんまる交通変更実施（30日）
- 12月 知事選で保守勝利（10日）

昭和54年（1979）

- 2月 市史編集委員会スタート
育英会8年ぶりに復活
- 4月 真志喜中学校開校

- きさらぎ児童公園完成
 - 本市の人口6万人突破
 - 6月 宜野湾音頭、宜野湾小唄決まる
電算課を新設
 - 8月 喜友名区公民館落成
 - 11月 普天間第二小学校新運動場完成
宜野湾署がキャンプマーシー跡に庁舎移転
 - 12月 新市庁舎が野嵩に落成
- 7月26日、11月1日 2件の身代金誘拐事件
- 年間 米軍演習激化で事故多発
- 年間 観光客、史上最高

昭和55年（1980）

- 3月 新市庁舎落成記念式典盛大に挙行
- 4月 コンピューター自主導入、業務稼働
- 5月 真栄原区公民館落成
- 8月 宜野湾まつり延べ20万人繰り出す
第一回ミスはごろも選出
- 10月 嘉数中学校全面改築工事着工
真志喜給食センター落成
米軍OV10ブロンコ機基地内へ墜落、乗員2名死傷、米軍への抗議相次ぐ
- 11月 嘉数高台、近隣公園として整備オープン
西鉄本社よりボギー電車譲り受ける
- 12月 市内一周バス運行開始
市史資料編1（新聞集成）発行
- 1月 自衛隊参加で那覇市小祿の成人式大荒れ（15日）
- 1月 働く婦人の家オープン（17日）
- 1月 自衛隊那覇基地で空対空ミサイル爆発（25日）
- 3月 ハブ対策条例制定（27日）
- 5月 韓国光州事件（27日）
- 8月 主任制実施を決定（30日）
- 9月 ポーランド自主管理労組「連帯」創設（22日）
- 10月 米軍演習中に恩納岳で火事、40日間続く（29日）

- 11月 那覇防衛施設局、未契約の米軍用地に対し、強制使用手続き開始（17日）
- 12月 自衛官募集を逆転可決（24日）
- 年間 校内暴力事件全国的におこる（1558件）

昭和56年（1981）

- 2月 宜野湾市少年少女合唱団誕生
- 3月 第1回市民文化展開催
- 4月 県立宜野湾高等学校開校
- 5月 商業近代化促進協議会が発足
- 6月 「協同組合ぎのわんショッピングセンター」「グリーンベル普天間商店街振興組合」法人組織化
- 7月 宜野湾市長に安次富盛信再選
嘉数高台市民プール完成
市立グラウンド完成
- 8月 普天間三区公民館増改築落成
- 9月 宜野湾小学校プール完成
普天間小学校全面改築工事完成
嘉数小学校改築併行改造防音工事着工
- 11月 市立「郷土資料館」開館
- 1月 革新市町村会、自衛官募集業務の拒否を宣言（16日）
- 2月 反戦地主会、土地使用認定取り消しを求めて提訴（7日）
- 3月 米韓合同演習「チームスピリッツ81」参加の艦船がホワイトビーチに集結（7日）
- 3月 那覇防衛施設局、未契約軍用地に5年間強制使用裁決を申請（20日）
- 3月 那覇地裁、トートーメー継承訴訟で女性を排する継承習慣は違憲と判決（24日）
- 7月 那覇市米軍用地使用に関し防衛施設局との覚書交換を拒否（1日）
- 8月 戦時6歳未満の戦傷病者・戦没者遺族に「援護法」適用（17日）
- 9月 初の大規模な日米共同演習、沖縄周辺海域で行われる（23日）
- 9月 嘉手納基地爆音被害で周辺6市町村住民共闘会議を結成（25日）
- 11月 国頭村与那の新種の鳥、ヤンバルクイナと命名（14日）
- 11月 那覇市、市有地の強制使用認定取消しを提訴（21日）
- 年間 水事情深刻、制限給水続く

昭和57年（1982）

- 2月 法務省宜野湾出張所が伊佐へ新築移転
- 4月 志真志小学校・幼稚園開園
- 7月 市制施行20周年
- 8月 第5回はごろも祭り
- 9月 ガジュマル公園、まつのおか公園の完成
- 12月 市史資料編2（市民の戦争体験）発刊
市民会館完成
- 1月 米軍、読谷村、嘉手納町の民家上空で特殊降下訓練（27日）
- 2月 嘉手納基地周辺6市町村住民、国を相手に嘉手納基地爆音訴訟提起（11日）
- 4月 県収用委員会、未契約軍用地の5年強制使用を裁決（7日）
- 7月 高校日本史の教科書で、日本軍による沖縄住民虐殺の記述が文部省検定で削除されたことが判明（4日）
- 8月 第二次沖縄振興開発計画（「二次振計」）を策定（5日）
- 9月 教科書検定で住民虐殺記述削除に抗議する県民大会（14日）
- 11月 県知事選で西銘順治再選（15日）
- 12月 一坪反戦地主会設立（12日）

昭和58（1983）年

- 1月 市制20周年式典及び市民会館落成
大謝名郵便局開局
大謝名児童センター開館
西海岸埋め立て起工式
- 10月 安次富盛信宜野湾市長、県知事に普天間飛行場移転を要請（8日）
- 2月 キャンプ・シュワープでの演習で宜野座村・久志中学で授業中断（3日）
- 2月 厚生省、初の沖縄戦遺骨収集実施（2月10日～3月5日）
- 2月 キャンプ・ハンセン基地内でタクシー運転手刺殺される（24日）
- 5月 無期限バススト突入（5月28日～6月13日）
- 6月 自衛隊大型ヘリ、那覇空港で着陸失敗し炎上（6日）
- 6月 米軍上陸演習「バリエント・ブリッジ'83」に自衛隊参加（7日）
- 9月 大韓航空追撃事件（日本人28人を含む269人全員死亡）（1日）
- 10月 ロッキード事件丸紅ルート判決（12日）

- 12月 新石垣空港建設反対の「白保の海とくらしを守る会」結成（4日）
 12月 沖縄戦記録フィルム1フィート運動の会結成（8日）

昭和59（1984）年

- 2月 宜野湾市文化協会設立
 宜野湾市保健相談センター落成
- 6月 普天間小学校プール開き
- 9月 野嵩一区豊年祭り36年ぶりに復活
 宜野湾港起工式
- 10月 市消防団に初の女性団員誕生
- 11月 19区公民館起工式
 上原土地区画整理事業起工式
- 12月 埋め立て竣工祝賀式典
- 1月 成人式への自衛官参加で革新団体・右翼・警察が衝突（15日）
 1月 テナゴコガネの新種発見（24日）
 1月 ブルービーチ殺人事件（25日）
 3月 グリーンベレーの読谷村トリー通信所配備計画に抗議行動（17日）
 4月 県内地価上昇率は全国一の5.2%（国土庁公示）（3日）
 5月 沖縄戦記録フィルム上映会（16日）
 5月 名護市許田でダンプに米軍機銃弾命中（18日）
 6月 自衛隊機、那覇空港で着陸に失敗、消波ブロックに激突炎上（21日）
 7月 沖縄戦記録フィルム、国会で上映（4日）
 9月 県、機動隊を導入して白保の環境調査を強行、反対派と衝突（12日）

昭和60（1985）年

- 4月 国体部を新設
 宮崎県東郷町との姉妹都市提携
- 7月 宜野湾市史第4巻「宜野湾関係資料1」
 第5巻「民俗」を刊行
 宜野湾市長に桃原正賢当選
- 9月 真栄原排水路貫通
- 3月 壺屋焼の金城次郎、県で初の人間国宝となる（24日）

- 3月 米軍大型トラック、金武町の民家に突っ込む（28日）
- 4月 第1回宮古島トライアスロン大会開かれる（28日）
- 5月 米軍牧港住宅地の返還が決定（15日）
- 6月 自衛隊機事故で那覇空港一時閉鎖（4日）
- 8月 軍用地20年強制を申請（5日）
- 8月 日航ジャンボ機墜落事故（死者520人、生存者4人）（12日）
- 9月 文部省、「日の丸・君が代」の実施徹底を通知（5日）
- 10月 県議会、「日の丸」「君が代」促進を決議（16日）
- 11月 第一回うないフェスティバル開催（23日）

昭和61（1986）年

- 1月 総事業費約8億8,000万円をかけて市役所前に水道・消防庁舎が完成
- 2月 市民課に漢字オンラインが導入される
- 3月 北海道岩見沢から普天間小学校へ雪のプレゼント
国鉄から新幹線こだま16号が贈呈、海浜公園に展示
- 4月 宜野湾中学校開校
- 5月 市内一周バスが運行開始
- 6月 市立体育館落成、記念事業に全日本対キューバのバレーボール試合を開催
嘉数小学校プール完成
- 8月 嘉数公民館落成
- 9月 54年ぶりに新城郷友会の組踊り復活
- 10月 市立保育行政20周年を迎える
- 1月 県道越え実弾砲撃演習でM198型榴弾砲を使用（28日）
- 2月 米軍用地の20年強制使用反対県民総決起大会（17日）
- 2月 「日の丸」「君が代」反対県民総決起大会（25日）
- 2月 未契約軍用地の20年強制使用をめぐる第1回公開審理（26日）
- 4月 チェルノブイリ原発事故、放射性汚染広がる（ソ連）（26日）
- 6月 ソ連のゴルバチョフ書記長、ペレストロイカ路線打ち出す
- 9月 基地内から金武町の民家にライフル弾（27日）
- 10月 空港の軍事利用に反対する宮古郡民決起大会（1日）
- 11月 元朝鮮軍夫、同僚慰霊に来県（19日）
- 12月 20年強制使用の第11回公開審理大荒れとなる（12日）

昭和62（1987）年

- 1月 プロ野球大洋球団キャンプ地誘致
- 2月 プロ野球オープン戦（大洋対日本ハム）実現
- 3月 宜野湾市立野球場落成
- 5月 パイプライン撤去で関係省庁へ要請
普天間中学校、宜野湾中学校プール完成
- 7月 市制施行25周年
夏季国体ヨット競技会場宜野湾マリーナ落成
- 8月 海邦国体夏季大会ヨット競技開催
- 9月 沖縄コンベンションセンター落成
- 10月 海邦国体秋季大会バスケット、野球、アーチェリー競技開催
「参議院沖特委」普天間第二小学校視察
市制施行25周年記念像「波に」除幕式
- 11月 身障者かりゆし大会炬火採火式（森の川）
- 12月 大相撲沖縄場所
- 1月 ハリアー訓練基地建設現場で米兵と国頭村住民衝突（17日）
- 1月 新石垣空港建設に関する環境補足調査で、反対派住民と弁護士逮捕（28日）
- 2月 県収用委員会、軍用地強制使用認可の裁決（那覇軍港5年、他は10年）
（24日）
- 5月 米軍、那覇市牧志住宅地区の返還式（5.31返還）（29日）
- 6月 カデナ基地包囲行動、約2万5000人が「人間の鎖」で包囲（21日）
- 8月 県、石垣空港建設計画を縮小変更（27日）
- 9月 海邦国体夏季大会開幕（9月20日～23日）、秋季大会（10月25日～30日）
- 10月 ニューヨーク株式市場大暴落（ブラックマンデー）（16日）
- 10月 国体少年ソフトボール競技開始式で日の丸焼き捨て事件（読谷）（26日）
- 11月 チビチリガマ破壊事件（読谷）（8日）

昭和63（1988）年

- 1月 比屋良川水生生物生息環境調査
- 3月 屋内多目的運動場落成
中国廈門市視察団来訪
- 4月 ながた児童公園開園

- 6月 真志喜中学校プール完成
大謝名小学校プール完成
野嵩ゲートボール場開所
- 7月 三菱・ヤクルト企業誘致調印式
普天間基地司令官へヘリ墜落事故の抗議
普天間第二小学校移転要請団上京
- 12月 与那覇朝大氏より絵画「陽春」の寄贈
- 1月 B52、グアムから12機飛来（12日）
- 2月 家永教科書検定訴訟の沖縄出張法廷開催（10日）
- 5月 沖縄自由貿易地域那覇地区（フリーゾーン）完成（26日）
- 6月 東村高江の県道で米軍・催涙ガス流出（4日）
- 7月 リクルート事件（5日）
- 7月 軍事演習と基地強化に反対する県民総決起大会（20日）
- 8月 イラン・イラク戦争8年ぶりに停止（20日）
- 9月 ブラジル移民80周年記念式典サンパウロで開催（17日）
- 10月 沖縄電力民営化（1日）
- 10月 金武町民間地域の路上や民間玄関先で流弾発見（15日～25日）
- 11月 那覇市の贈収賄事件（26日）
- 12月 恩納演習場強化反対委員会発足（13日）

昭和64・平成元（1989）年

- 2月 旧庁舎跡地訴訟一審勝訴判決
- 3月 ディ・サービスセンター福寿園落成式
- 4月 宜野湾市公共施設管理公社開所
うなばら保育所落成
- 6月 市老人福祉センター落成
米軍ヘリ墜落事故に対する東京への抗議行動
- 7月 宜野湾市長に桃原正賢再選
- 11月 印鑑登録電算システム
第1回国際太鼓フェスティバル
- 12月 老人保健施設ぎのわんおもと園竣工
- 1月 昭和天皇逝去（87歳、翌8日、新元号「平成」となる）（7日）
- 3月 宜野座村議会、都市型戦闘訓練施設建設抗議決議（2日）

- 3月 本部町議会、P-3C送信所建設反対の意見書採択（20日）
- 4月 県、白保での新石垣空港建設を断念（26日）
- 6月 中国天安門事件（第2次）（4日）
- 6月 ひめゆり平和資料館開館（23日）
- 7月 参議院選挙実施（与野党逆転、自民党過半数割る）（23日）
- 9月 自衛隊施設建設について情報公開決定（国、公開取消を求め提訴）（28日）
- 10月 都市型ゲリラ訓練施設建設、村民の座り込みで資材搬入を断念（7日）
- 11月 ベルリンの壁崩壊、東欧の民主化加速（10日）
- 11月 伊江島のハリアー訓練基地完成（13日）
- 12月 米ソ首脳会議で東西冷戦の終結を確認（3日）

平成2（1990）年

- 1月 宇地泊区公民館落成
- 2月 愛誠園デイ・サービスセンター落成
- 3月 野嵩保育所落成
赤道児童センター落成
- 4月 シルバー人材センター開所
市立教育研究所開所
- 8月 コンベンションセンター劇場棟落成
- 10月 普天間飛行場跡地利用市民フォーラム
- 11月 清風堂上里正俊氏より「羽衣の像」が贈呈
真志喜中学校全国マーチングコンクールで優勝
- 12月 第1回宜野湾市長杯争奪硬式テニス大会
宜野湾特産「泡盛はごろも」発表
- 1月 県庁行政棟落成式（26日）
- 2月 県内初の美術館・浦添美術館オープン（1日）
- 3月 バルト三国のリトアニア独立宣言（エストニア・ラトビアも続く）（11日）
- 3月 県議会、県提出の慰霊の日廃止条例を審議未了により廃案（26日）
- 6月 海部首相、歴代首相として初めて沖縄戦全戦没者追悼式に出席（23日）
- 6月 県道104号線越え実弾砲撃演習、復帰後100回目（26日）
- 7月 自衛隊のP-3C対戦哨戒機、那覇基地に配備（11日）
- 8月 沖縄水産高校、県勢初の甲子園準優勝（翌91年夏も準優勝）（21日）
- 8月 第一回世界のウチナーンチュ大会（沖縄コンベンションセンター）

- 10月 東西ドイツ統一（3日）
- 11月 県知事選、革新の大田昌秀当選（18日）

平成3（1991）年

- 2月 嘉数地域が住居表示実施
- 3月 POL跡地買い上げ問題解決、市道整備でスタート
嘉数中学校屋内運動場・柔剣道場落成
海浜公園屋外劇場完成
伊佐伊利原市営住宅完成
志真志小学校プール完成
佐真下公園完成
- 4月 中部広域圏に加入（南部広域脱会）
- 7月 第1回宜野湾市少年の主張大会
- 9月 土曜閉庁による4週6休制スタート
- 10月 普天間基地跡利用シンポジウム（青年会議所主催）
市史別冊・写真集「ぎのわん」発刊
- 11月 宜野湾市民図書館オープン
- 1月 湾岸戦争（1月17日～2月28日）
- 4月 県内初の再開発ビル「パレットくもじ」オープン（19日）
- 5月 知事、広告・縦覧代行を表明（28日）
- 6月 米軍演習で、また恩納岳で山火事（3日）
- 6月 雲仙普賢岳噴火、火砕流で大被害（3日）
- 9月 県議会、全会一致で在比米軍機の嘉手納移駐反対決議（24日）
- 12月 ソ連邦解体、CIS（独立国家共同体）誕生（25日）

平成4（1992）年

- 1月 暴力団撲滅市民総決起大会
- 2月 普天間飛行場跡利用青年フォーラム
大山小学校改築落成式
- 4月 社会福祉法人「蒼生学園」開園
第1回市子ども会まつり
まえはら児童公園開園式

- 5月 嘉数高台公園展望台落成式
市在宅介護支援センター開所式
- 7月 市制30周年記念式典
ラグナガーデンホテルオープン
- 10月 米軍のヘリコプター墜落事故
ヘリ墜落に抗議する緊急宜野湾市民大会
- 11月 アジア太平洋諸国友好平和モニュメント除幕式
- 2月 県収用委、強制使用5年の裁決（12日）
- 2月 戦争マラリア国家補償実現総決起大会（16日）
- 7月 政府、第3次沖縄振興開発計画決定（28日）
- 7月 P-3C基地建設で測量開始（29日）
- 11月 首里城正殿復元、一般公開（3日）
- 11月 知事、新石垣空港宮良案を表明（26日）

平成5（1993）年

- 2月 第5回市民福祉まつり
- 4月 国民年金電算新システム開始式
大山児童センター落成式
伊佐土地区画整理組合記念碑除幕式
- 6月 ぎのわんトロピカルビーチオープン
第1回市民体育大会
- 7月 市長選挙（当選 桃原正賢 三期目）
- 9月 第1回市内小学校・中学校陸上競技大会
- 10月 第1回市生涯スポーツフェスティバル
市青年会議所主催の「ゆとりとふれ愛のあるまちづくりシンポジウム」
- 12月 普天間リサイクル市民の会より空き缶プレス機贈呈
- 1月 NHK、「琉球の風」放映開始（10日）
- 3月 「日の丸」裁判で那覇地裁、知花被告に懲役1年の判決（23日）
- 4月 沖縄で全国植樹祭。天皇・皇后としては初の沖縄来訪（23日）
- 9月 P-3C基地建設阻止総決起大会（27日）

平成6（1994）年

- 4月 街路モニュメント除幕式（真志喜）
福祉システム電算導入稼働式
あかみち公園開園
ふてんま公園開園
歓海門開門式
- 6月 トロピカルビーチへ重油流出
ひまわり共同作業所開所式
8万人目市民達成記念セレモニー
- 7月 沖縄ビジターズビューロー発足
宜野湾小学校全面改築落成
- 8月 A T M稼働
- 9月 沖縄電力より市文化財モニュメント寄贈
ハワイ宜野湾市人会より図書寄贈
- 11月 中国廈門市青年宮舞踊団公演
県立中部商業高校創立30周年記念式典
- 12月 博物館建設準備室開設
- 2月 嘉手納基地爆音訴訟第1審判決（那覇地裁）（24日）
- 4月 米軍F15戦闘機、沖縄市の黙認耕作地に墜落（4日）
- 8月 本部町長選挙でP-3C反対の長浜徳松当選（29日）
- 9月 宝珠山防衛施設庁長官、「基地と共存、共栄を」と発言、県民猛反発。
平和の礎で刻銘作業。（9日）
- 11月 県知事選、大田知事再選（20日）
- 12月 反戦地主への重課税訴訟、那覇地裁で勝訴（国側控訴）（12日）

平成7（1995）年

- 2月 宜野湾上原郵便局開局
市青少協創立20周年記念式典
- 4月 市水道局看板掲示（水道部から水道局へ）
新城児童センター落成
- 5月 普天間基地包囲行動
- 6月 小樽ドリームビーチ、宜野湾トロピカルビーチ姉妹ビーチ締結調印

- 消防真志喜出張所落成
- 7月 宮崎県東郷町姉妹都市締結10周年記念碑除幕式
- 9月 市水道事業通水35周年記念式典
緑の少年団結成式
- 11月 第2回世界のウチナンチュ大会
中国廈門市友好都市締結調印
- 3月 情報公開訴訟で那覇市勝訴（国側控訴）（28日）
- 5月 村山首相、強制使用認定を告示（9日）
- 5月 軍転（特措）法成立（19日）
- 6月 「平和の礎」除幕（23日）
- 9月 米兵による少女暴行事件発生（4日）
- 9月 河野外相、知事の地位協定見直し要求を拒否（19日）
- 9月 知事、県議会で代理署名拒否を表明（28日）
- 10月 少女暴行事件抗議の県民総決起大会、8万5000人参加（21日）
- 11月 クリントン米大統領、訪日を中止（16日）
- 12月 村山首相、大田知事を提訴（職務執行命令訴訟）（7日）

平成8（1996）年

- 1月 第1回レクレーション大会
- 2月 真志喜郵便局開局
宜野湾中学校創立10周年記念式典
宮崎県東郷町姉妹都市締結10周年
- 3月 創作市民劇「喜友名泉築造物語」
宜野湾市手をつなぐ親の会20周年記念式典
- 4月 まつぼっくり公園開園
普天間飛行場跡地を考えるシンポジウム
のだけ公園開園
- 5月 訪問看護ステーション開所（宜野湾記念病院）
- 6月 普天間第二小学校校舎落成式
聴覚補聴適合相談所開所（社会福祉協議会）
- 8月 新城区自治会ミニデイサービス開所
- 11月 大山小学校創立50周年記念式典
- 1月 芥川賞に又吉栄喜氏（11日）

- 1月 県、基地返還アクションプログラムを発表（30日）
- 3月 代理署名訴訟、県側敗訴（25日）
- 3月 橋本首相、署名代行。楚辺通信所（「象のオリ」）緊急使用を県収用委に申請（29日）
- 4月 橋本・モンデル会談で普天間基地の全面返還合意（12日）
- 4月 日米首脳会談で安保体制強化を宣言（17日）
- 6月 県収用委、3000件の裁決申請受理（6日）
- 8月 代理署名訴訟、最高裁判決で県側敗訴（28日）
- 9月 全国初の県民投票行われる（8日）
- 9月 知事、広告・縦覧代行を表明（13日）
- 10月 普天間移設の日米合同作業班設置（2日）
- 12月 米軍機、那覇沖に爆弾を捨てる（10日）

平成9（1997）年

- 3月 大山区公民館落成式典・祝賀会
シルバー人材センターワークプラザ落成記念式典
- 4月 財務会計システム稼働
おおぶき公園開園
- 8月 第11代宜野湾市長に比嘉盛光就任
- 11月 普天間中学校創立50周年記念式典
- 1月 名護市、ヘリポート基地建設の現地調査を拒否（21日）
- 2月 米軍、鳥島射撃場で劣化ウラン弾1520発使用が明るみに（10日）
- 2月 県収用委、第1回公開審理（宜野湾市）（21日）
- 4月 米軍用地特措法の改正が衆議院で可決（9割賛成）。参議院は17日可決（11日）
- 7月 「日米防衛協力のための指針」（ガイドライン）改正の検討項目が22項目明らかにされる（2日）
- 7月 分散移転先の北富士練習場で実弾砲撃演習始まる（3日）
- 8月 県、海上ヘリポート建設のボーリング調査開始（1日）
- 8月 名護市の市民投票推進協議会、19,734人の署名簿を市に提出（13日）
- 9月 空母インディペンデンス（4日）、小樽港に入港、原子力空母ニミッツ（21日）、ブルーリッジ（27日）と全国民間港への寄港続く
- 9月 新防衛指針で日米合意（24日）

- 12月 1944年疎開する多くの子供達をのせて鹿児島県悪石島北西約10キロで沈没した対馬丸、53年ぶりに確認（12日）

平成10（1998）年

- 1月 街づくり特別対策プロジェクトチーム設置
- 2月 宜野湾小学校屋内運動場落成式典
普天間小学校創立90周年記念式典
- 5月 普天間基地包囲行動
- 10月 市体育協会創立50周年記念式典
- 12月 世界エイズデーヤングフェスティバルin宜野湾
地域振興事業推進プロジェクトチーム設置
- 2月 大田知事が海上ヘリ基地に反対（6日）
- 4月 改正沖縄振興法が施行さる
- 5月 嘉手納爆音訴訟、双方が上告断念（22日）
- 6月 首里織りの宮平初子さん、人間国宝になる。沖縄からは金城次郎氏について二人目。
- 8月 不況深刻、失業率過去最悪
- 9月 異常気象でサンゴの白化現象
- 9月 統一地方選挙、4市で新市長誕生（13日）
- 11月 稲嶺恵一氏、知事に当選（15日）

平成11（1999）年

- 1月 日本一に輝いた横浜ベイスターズ凱旋パレード
- 3月 地域振興券の交付
普天間飛行場跡地利用と企業誘致を考える討論会
- 4月 宜野湾市立長田小学校・幼稚園が開校
ゆうせい情報プラザオープン
トロピカルハウス（トロピカルビーチ内）が落成式
- 6月 宜野湾市立博物館が開館
- 3月 コソボ紛争で北大西洋条約機構（NATO）がユーゴスラビアを空爆(24日)
- 4月 第77回選抜高等学校野球大会で沖縄尚学高校、春夏大会を通じて県勢初の甲子園制覇（4日）

- 4月 沖縄サミット開催決定（29日）
- 8月 日の丸を国旗、君が代を国歌と定めた国旗国歌法が成立（9日）
- 8月 トルコで7・4、9月21日には台湾で7・7の地震が発生し、あわせて2万人の犠牲者がでた（17日）
- 9月 茨城県東海村で日本初の臨界事故（30日）
- 11月 米軍普天間飛行場の移設先、米軍キャンプシュワブ水域内名護市辺野古沿岸地域に選定（22日）

平成12（2000）年

- 3月 国道58号宜野湾バイパス（伊佐～牧港）供用開始
- 7月 国際平和子供サミット・インぎのわん開催
米軍関連事件・事故に抗議する緊急県民総決起大会が宜野湾市で開催
- 4月 介護保険制度スタート（1日）
- 5月 新生ロシアの第二代大統領にプーチン氏が就任（7日）
- 5月 4月に脳梗塞で緊急入院した小淵恵三首相が死去（14日）
人間国宝新たに3人（琉球古典音楽の島袋正雄氏、照喜名朝一氏と芭蕉布の平良敏子さんが認定
- 6月 韓国の金大中大統領と朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）の金日正総書記は平壤で初の南北首脳会談を開く（13日）
- 6月 雪印乳業、大量食中毒事件発生
- 6月 衆議院議員に東門美津子氏が当選、初の女性国会議員が誕生（25日）
- 6月 ヒトゲノム（人間の全遺伝情報）の解読作業完了する（26日）
- 7月 名護市の万国津梁館で沖縄サミット（主要国首脳会議）開催（21～23日）
- 10月 アクアポリス、スクラップとして1400万円で米企業に売却（18日）
- 11月 32年ぶり県都那覇で翁長雄志保守市政が誕生（12日）
- 11月 少年事件相次ぎ、改正少年法が成立
- 11月 携帯電話向けインターネット「iモード」が爆発的ヒット、加入台数1千万台を突破
- 12月 琉球王国のグスク及び関連施設群世界遺産に登録
- 12月 B S デジタル放送が始る
ハワイで1月に、カナダでは9月に移民百周年を迎えた

平成13（2001）年

- 1月 宜野湾市ホームページ開設
- 4月 ぐんばる公園開園
- 5月 宜野湾小学校創立120周年記念式典
- 6月 宜野湾市国際交流協会設立
- 7月 宜野湾市長に比嘉盛光再選
- 1月 中央省庁再編により、沖縄開発庁は内閣府沖縄担当部局に移行（6日）
- 1月 米国43代大統領に共和党のジョージ・ブッシュ氏就任（20日）
- 2月 ハワイ沖で宇和島水産高校実習船「えひめ丸」が米原子力潜水艦と衝突、9人が亡くなった（9日）
- 5月 らい予防法違憲と判断、90年間にわたる終身絶対隔離政策をつづけた国を断罪。国は患者らに正式に謝罪、補償法も成立（11日）
- 6月 大阪・池田小学校に男が乱入、23人を殺傷。学校の安全性が問われた（8日）
- 7月 那覇市情報公開で国敗訴（13日）
- 9月 米国同時多発テロ起こる（11日）
米テロで沖縄旅行キャンセル相次ぐ
- 9月 失業率過去最悪の9.4%
米軍関連事件が多発
- 10月 臨時国会でテロ対策特別措置法成立
- 11月 宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで第3回世界のウチナーンチュ大会が開かれる（1～4日）

平成14（2002）年

- 1月 初の女性模擬議会開催
- 3月 移動図書館「ちゅらゆめ号」稼働
- 4月 情報公開条例・個人情報保護条例スタート
- 7月 市制施行40周年記念式典
市立図書館で証明書交付スタート
宜野湾市から31年ぶりに中部商業高校野球部が甲子園へ出場
子ども議会が市議会本議会議場で開催
- 8月 中国廈門市市立鷺江大学へ神里睦子さんを初の留学生として派遣
- 9月 はごろも学習センター開所

- 市議会議員定数改正後、初の30議席決まる
内閣府沖縄・北方担当大臣主宰による「基地跡地対策協議会」発足
- 10月 若者達の意見を市政へ「21世紀まちづくり委員会」発足
「東洋大太平洋スーパーバンタム級王者」仲里繁、タイトル初防衛
宜野湾市人材育成交流センターと宜野湾市情報センター工事同時着
ぎのわん平和・歴史写真展開催
- 3月 自立型経済へと目標を移した沖縄振興特別措置法が国会で成立（29日）
- 4月 仲里村と具志川村が合併、久米島町が誕生（1日）
- 7月 普天間飛行場代替埋め立てで合意（29日）
- 8月 オリオンビールがアサヒビールと包括的業務提携で合意
長期不況で雇用不安続く
- 11月 本部町国営海洋博記念公園内に沖縄美ら海（ちゅらうみ）水族館オープン
（1日）
- 12月 泡瀬埋め立て工事に着手（19日）

平成15（2003）年

- 1月 宜野湾・西原・中城三市町村合併任意協議会設置
- 4月 人材育成交流センター「めぶき」オープン
第13代宜野湾市長に伊波洋一就任
- 5月 宜野湾ベイサイド情報センターオープン
- 6月 中学2年生殺害で4人を逮捕・補導（23日）
- 8月 モノレール開通（10日）
- 9月 台風14号、宮古で猛威をふるう（10、11日）

平成16（2004）年

- 8月 沖縄国際大学に米軍ヘリ墜落炎上（13日）
- 9月 米軍ヘリ墜落事故に抗議する市民大会（12日）
プロゴルファー宮里藍、プロ1年目で大活躍
自治体の財政が危機に

編集後記 （活動編）

平成14年7月1日に市政施行40周年の節目を迎え、さらに平成17年3月末を目途に中城村、北中城村、西原町との市町村合併の協議が進められる中、戦後からこれまでの宜野湾市（村）の議会活動の歴史をまとめ、後世に残すべく、議会事務局職員全員で平成15年1月から議会史編さん事業に取り組んでまいりました。市町村合併をにらみながらの期間的なことやその作業時間を議会開催の合間に合わせる等、非常に厳しい中での取り組みとなりました。

活動編については、議会史発刊に向けての座談会を企画しましたところ、6名の歴代議長の皆様に御出席いただき、大変貴重なお話を聞くことができました。さらに、歴代議長及び叙勲受賞者並びに議員代表の9名の皆様に議員在職中の思い出などについて、原稿依頼をいたしましたところ、快く貴重な体験談を寄稿していただきました。

編さん作業はかなりの時間を要するものでありましたが、職員自らも議会の歴史を学ぶすばらしい機会となりました。

活動編を発刊するに当たりまして、貴重な写真、資料の提供をいただきました市当局を初め、市教育委員会、沖縄タイムス社の皆様に感謝いたしますとともに、御協力を賜りました株式会社東洋企画印刷並びに関係各位に対しまして、衷心より御礼申し上げます。

参考文献（第二次大戦後～平成まで）

- 『宜野湾市史』第1巻 通史編
『宜野湾市史』第7巻 資料編6
新聞資料集成Ⅲ・上（1945～1958）
『宜野湾市史』第7巻 資料編6
新聞資料集成Ⅲ・下（1959～1971）
『戦後初期の宜野湾—桃原亀郎日記』
1945年～1971年は上記より転載、一部要約引用しました。
宜野湾市史別冊 写真集「ぎのわん」
市報 ぎのわん 縮刷版
宜野湾市勢要覧
『沖縄百科事典』

協力

宜野湾市教育委員会
沖縄タイムス社
沖縄県立博物館
深澤秋人 氏

宜野湾市議会史 活動編

平成18年3月31日 発行

発行 宜野湾市議会
編集 宜野湾市議会事務局
〒901-2710

沖縄県宜野湾市野嵩一丁目1番1号
電話（098）893-4411

編纂印刷 株式会社 東洋企画印刷
〒900-0024

沖縄県那覇市古波蔵4-1-1
電話（098）831-7404
